川口市成人歯科健診 ＋ 歯科ドック

川口市に住民登録されている
30歳以上の方が対象です。

健診施設

川口歯科医師会会員
の指定診療所

健診＋歯科ドック費用
（受診者負担額）

◎ 30～64歳の方	3,150円
◎ 65歳以上の方	2,100円
◎ 節目健診者（40・50・60・70歳の方）	2,100円

※「節目検診」は、誕生日が今年4月2日～来年4月1日にこの年齢になる方で、川口市から通知が送られてきます。

健診のみの費用
（受診者負担額）

◎ 30～64歳の方	1,050円
◎ 65歳以上の方	600円
◎ 節目健診者（40・50・60・70歳の方）	600円

この成人歯科健診・歯科ドック事業は、川口市と川口歯科医師会の共同事業として、平成25年4月から始まりました。平成24年4月に母子・乳幼児から高齢者まで、全てのライフステージにおける歯科保健を推進することを目的として施行された「川口市歯科口腔保健の推進に関する条例」第7条（施行の実施）に基づくものです。
歯・口の健康を守ることは長寿社会にも寄与します。

『噛ミング30』

よく噛むことは
は・の・ひ・み・つ

みなさんは、1口で何回くらい噛んでいますか。
現代では、昔に比べて食べ物がやわらかくなり、噛む回数が減っているのです。下顎が退化する現象も問題化しています。
1口30回噛むと、体によいことがたくさんありますよ。

は　歯の病気を防ぐ
よく噛むことは、舌や頬の動きによって、歯の周りの食べかすを取り除き、むし歯や歯周病の予防になります

の　脳の発達をよくする
よく噛むことが脳を刺激して、脳の機能を活性化させ、記憶力をアップさせます

ひ　肥満の防止になる
ゆっくりとよく噛んでたべると、満腹中枢を刺激して食べ過ぎの防止になります

み　味覚を発達させる
よく噛むと、舌の味覚細胞を刺激して、味覚が敏感になります

つ　つば（だ液）の分泌
よく噛むことによって、だ液腺から唾液の分泌が多くなり、口の中を潤し、食べ物の消化やむし歯予防に役立ちます

皆さん、ぜひ『噛ミング30（サンマル）』を習慣づけましょう！

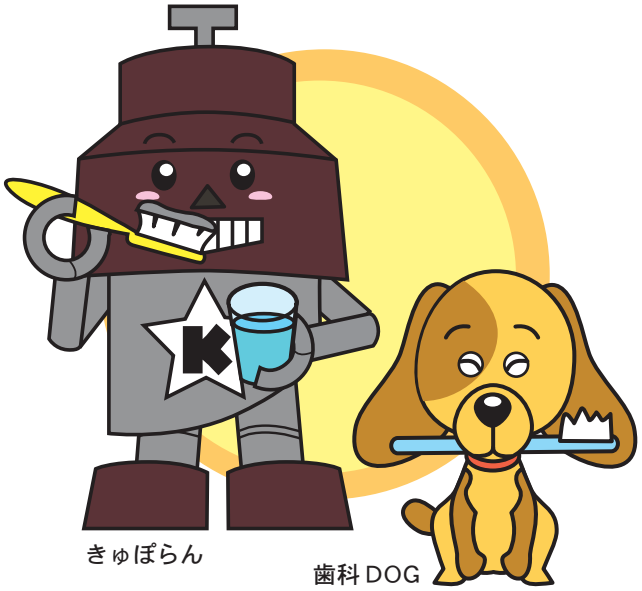
健診

川口市 成人歯科健診

一般社団法人 川口歯科医師会
http://www.kawaguchi-shikaishikai.or.jp

30歳以上の
川口市民が
対象です！

成人歯科健診
＋歯科ドック



きゅぽらん　　歯科DOG

受診の際はこのマークのある歯科医院で

一般社団法人 川口歯科医師会
http://www.kawaguchi-shikaishikai.or.jp

成人歯科健診は あなたの長寿ライフを 豊かにします

むし歯で歯が痛くなり、歯科医院で治療する方は多くいますが、歯周病の治療で歯科医院に通う人はまだまだ少ないようです。歯周病は、糖尿病とともに「沈黙の疾患」と呼ばれています。長い年月をかけて口腔内をむしばみ、気づいたときには手遅れというケースが多い病気です。

あなたの歯と口の健康を維持するために、成人歯科健診と歯科ドックの受診をお勧めします。

《成人歯科健診の内容》

◎ 問　診

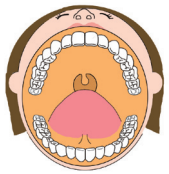
歯に関する悩みや日頃の生活習慣を、問診票や聞き取りで把握します。

◎ 歯周病等の健診

むし歯や歯周病などの状況をチェックし、治療・予防の適切な指導の基準にします。

◎ 口腔内の健診

口腔内の清掃状態、歯の欠損、粘膜の異常など、口腔内に問題がないかチェックします。



◎ 事後指導

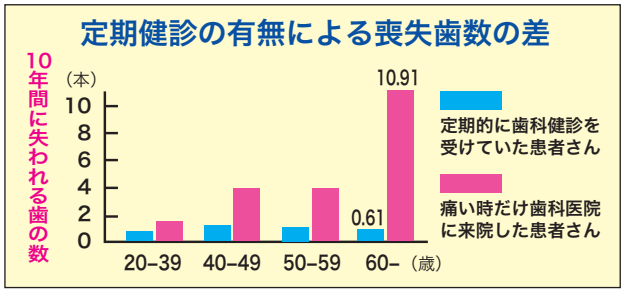
健診の結果、①異常なし、②要指導、③要精密検査などに分類し適切な指導を行います

健診の対象が 30 歳以上の理由

40 歳を過ぎると喪失歯数が増えてくる

歯ぐきに炎症がみられる人の割合は 30 歳で 80%以上といわれ、そのピークは 45 歳～ 54 歳で 88%を超えます。また、20 歳以下の若年者でもおよそ半数に歯ぐきに炎症がみられます。

歯周病は自然に治ることはありません。急速に歯が失われ始める 40 歳以降は、定期的に歯科健診を受診し、専門家の指導を受けることが重要です。



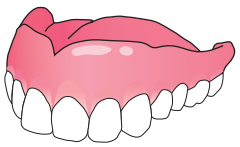
新庄文明，鈴木尚，池田雅彦　■成人，高齢者にたいする歯科臨床における歯周病予防指導の効果についての研究，喪失リスクに与える影響　老年歯科医学 3：15-19，1989 より引用

歯周病の進行と義歯生活

初期の歯周病　　中等度の歯周病　　重度の歯周病

将来、義歯を入れたいですか？

現在 80 歳以上の方は、約 50%が義歯（入れ歯）を入れています。飽食の時代に、味が感じにくい、硬いものが食べられないと、皆さん苦労されているようです。



※雑誌「月刊プレジデント」（2012 年 11 月号）のシニア世代 1000 人調査で、「リタイア前にやるべきだった…後悔トップ 20」の中の健康部門で「歯科の定期健診を受ければ良かった」という回答が第 1 位でした。

むし歯や歯周病にかかりやすい体質等をさらに詳しく検査するには…

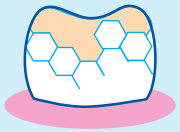
歯科ドック

だ液による各種検査で、お口の中の健康状態や将来の危険度、口腔がん等の口腔内の病気を調べる、人間ドックの歯科版です。

※受診される方は、検査前の 2 時間以内の飲食・歯磨きは控えて下さい。

◎ ウ蝕活動検査（RDテスト）

だ液の中の細菌を採取・培養して、口腔内の衛生状態や、むし歯の進みやすさ、かかりやすさなどを調べます。

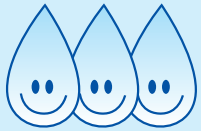


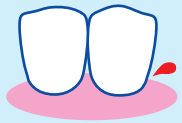
◎ だ液緩衝能検査

緩衝能（酸を中和する力）が高ければ、口の中の酸を早く中和して、歯の再石灰化を促進させます。

◎ だ液量測定

だ液には、口の中を清潔にする働きがあります。だ液量が減少すると、むし歯や歯周病にかかりやすくなります。





◎ だ液潜血検査

歯周病の進行による口腔内の出血や、歯周病原菌が歯肉に侵入して起きる炎症反応を調べます。

◎ 口腔内軟組織検査

歯肉や舌、頬粘膜などの軟組織の異常を調べます。口腔がんや腫瘍などの異常が発見される場合もあります。